

第3回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日時 令和4年3月17日(木) 14時00分～15時20分

2 場所 水道局3階大会議室

3 出席者 出席委員11名

戸前会長、入木委員、内田委員、尾跡委員、児玉委員、近藤健委員、

竹田委員、長沼委員、原田委員、山野委員、山部委員

事務局8名

加藤参事、高旗参事、大森副参事兼課長、小河原課長主幹兼室長、

橘鷹副参事兼課長、鷺尾課長、野上課長代理、大橋課長

4 会議

(1) 議事

1 水道管の凍結防止対策

2 Web版広報くらっぴい

3 令和4年度倉敷市水道事業会計予算

4 耐震性貯水槽の整備

5 倉敷市議会11月定例会 水道局関連の一般質問答弁

<質疑>

1 水道管の凍結防止対策

委員 どのような被害があるのか、具体的に教えてください。

事務局 一番の被害は家の中で、蛇口をひねっても水が出ない、あとは水道管が一回凍り、それが溶け出すことで外の給水管が破裂して漏水してしまうという被害、この二つが主な被害となります。

委員 凍ることによって水道管が氷で詰まるという事ですか。

事務局 管の中の水が凍ると体積が増えます。それにより少し古い管などは、破損して水が漏れ出すといったことがあります。

委員 給水管は使用者の財産と言われましたが、使用者になったと同時にその上に住んで

いたら自分の財産になるのですか。

事務局 道路には水道の本管が入っており、皆様のお宅にはそこから各々水道の管を引き込むようになり、引込管はお客様個人の所有のものになります。道路にある引込の部分から家の中までは、皆様が家などを建てる時に費用負担して設置していただいたものになりますので、お客様の財産ということで維持管理していただくことになります。

委員 水道 GIS についてですが、どの程度の詳しさを今作成されているのですか。

事務局 主には水道の配管図、過去に行った工事の竣工図や皆様の水道メーターの情報がメインに入ったものとなっております。

委員 随時調査して落とし込んでいるのですか。

事務局 凍結箇所については、前年度から落とし込み、プロットを始めました。今年度については、幸いなことに大きな寒波が来なかったため落とし込みはしていませんが、来年度以降、寒波が発生してお問い合わせなどがあれば随時落とし込みを行い、今後の凍結防止に反映させていきたいと考えております。

委員 貴重な資料だと思います。ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。

2 Web版広報くらっぴい

<質疑>

委員 Web版広報くらっぴいを、小学4年生の学習ツールにということですが、私としてはいいことだと思います。40～50年くらい前に、ラジオで子どもが先生に、「雨の水は空から降ってタダなのに、なぜ水道に料金がかかるのか」という質問をしていて、私もなるほどと思いました。その時先生が何と答えたかという、「これは水の料金とは書いてなくて水道と書いているでしょう。水はタダではあるけれども、その水を飲む水道水にしてあなたの家に届けるまでに色々お金がかかっている」と言っているのを聞いた時に自分なりになるほどと思い、新たに明快な回答をいただいたと感じました。水道代が高いということは、それだけ色々災害に強い管への交換や、少しでも美味しい水が飲む研究努力をいただいていると感じています。小学生の子どもたちにも、もっともっとその辺を分かりやすく広報していただければ水道局の方々も努力が報われるのではないかと思います。

事務局 大変有難い意見をありがとうございます。水道のはじまりには目的がありますので、今回クイズの中で水道法の第1条について少しだけ触れさせていただいています。水道法第1条には、公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とすると書かれております。クイズの流れの中でも、かつて伝染病などがあり、そのことを踏まえて水道が始まったということを入れています。まさに水道は、こういった目的をもってここまで成長してきました。委員のご意見本当にありがとうございます。今回の取り組みが、今後子どもたちに役立つのではないかと私も感じております。

委員 新しい取り組み、非常にいいと思います。Web版は年一回程度と発行ということですが、今後はどのような計画ですか。

事務局 今の所、初めての取り組みのため、年1回で考えております。今回は、水道の始まりをテーマにしました。次のテーマの内容については検討中ですが、水道の始まりから現代に至るまでのどこかにポイントを絞ってテーマにし、内容の作り込みをしたいと考えております。

3 令和4年度倉敷市水道事業会計予算

委員 令和3年度と比べて令和4年度の予算はどのような特徴があるのですか。

事務局 令和3年度で一区切りつく計画が終わったことから、令和4年度につきましては新しい計画を策定してそれに基づいて行うということで、耐震化の工事を推進してはいますが、令和3年度に比べ幾分工事費は抑え気味になっている現状でございます。

4 耐震性貯水槽の整備

委員 他の市町村はどのようにされていますか。

事務局 県内の設置状況ですが、岡山市では地下式100 m^3 型の貯水槽を2基、水道局庁舎内に地上式20 m^3 型のステンレス製のタンクを1基設置しております。また、総社市においては50 m^3 型の地下式の貯水槽を防災公園に設置しております。その他では、中四国で一番多い広島市で38基、主に100 m^3 型の貯水槽を設置してしまして、高松市なども10基ほど同程度の貯水槽を設置しております。

委員 政令指定都市の広島市は、国からの予算が沢山出るということですか。

事務局 予算につきましては確認できていないのですが、主に防災部署が担当して行ってい

るとは伺っています。

委員 倉敷の100 m³型の予算はどのくらいですか。

事務局 今回発注しました工事金額で申しますと、玉島地区においては地盤改良や仮設工事費を計上したため約1億5千万円程度かかっておりますが、児島地区の中山運動公園では、1億1千万円台の金額となっております。

委員 工事事業者はどういった方が事業者になっているのですか。

事務局 水道局の入札基準に従いまして水道施設工事事業を生業とする業者に発注しております。

委員 耐震性の貯水槽はなるべく使わない、必要がない方がよいですが、地震が起きた時、山間部にある貯水タンクの耐震性とはどのくらいのものなのですか。

事務局 市内の配水池の耐震化率は60%程度です。少し話の趣旨から逸れますが、1、000 m³以上の水槽に関しては、耐震性貯水槽と同じで緊急遮断弁を設けているので、水が確保できるようになっています。そのような施設が市内に7か所程度あります。水を取りに行ける給水基地としては考えているのですが、地震が起きますと道路の状況や交通アクセスが遮断されるようなこともありますので、耐震性貯水槽の整備をするようになりました。

委員 貯水槽が仕上がった時に、地域の人に場所を知ってもらうための訓練などは考えているのですか。

事務局 地下型ですと場所がどこにあるのか分かりにくいので、案内看板等設置することも含めまして、今後防災担当部署と連携して広報していただくなどを考えております。防災倉庫等も設置しますので、そちらの利用方法についても今後共同で考えてまいりたいと思っております。

委員 公園に設置するという事は、しばらく公園が使いなくなるのですか。

事務局 新倉敷駅南公園に関しましては、工事時は仕切りをしてその区間は使えませんが、残りの部分は使うことはできます。中山運動公園に関しては、球場前の道の部分になるので、普段競技が無い時には支障はないと思っております。工事期間は2か月間くらいだと思いますが、その間は一部使用できません。

委員 市議会の質疑応答というのは、水道局としては大変な業務ですか。

事務局 議会の答弁につきましては、各議員さんが市政について関心をもたれていることへの質問が多くございます。今回の場合は、令和3年10月に和歌山市の水管橋崩落があった関係で水道局にご質問がありましたが、どちらかと言えばあまり質問が多い方ではありません。

昨夜も東北の方で大きな地震もございました。水道は、地下に水道管が埋まっている関係で地震の影響が非常に大きいため、私共も他人事ではございませんので、日頃からしっかり耐震化を進めて行かなければならないと思っております。今後とも皆様に安心して水道水をご利用いただけるように、しっかり取り組んで参りたいと思っております。

委員 耐震に強い管路については、前々回の時から聞かせていただいたのですが、凍っても破裂しにくい管というものはあるのですか。

事務局 塩ビ管、配ポリ管のように、いくらか収縮に耐えられる管が最近出ておりますので、今までの管よりは寒さには強い管と思われれます。

委員 その管は耐震に関してはどうですか。

事務局 耐震管でもありますし、伸び縮みもするという管になります。

委員 水道GISはどここの地図を使われていますか。ゼンリンですか。グーグルですか。

事務局 水道GISはゼンリンの地図をベースに情報を入れています。

委員 水道管の埋設は地下何メートルぐらいと決まっているのですか。

事務局 昔であれば1mから1.2mの深さですが、最近では60cmが一般的な深さになっております。

委員 かなり浅いですね。

事務局 漏水が起きた時にあまり深いと掘るのに時間もかかりますので、管の質も良くなりましたので、維持管理の面からもみて今は60cmから1mくらいが多いです。

(2) 今後の日程について

事務局 次回審議会は、8月頃の開催を考えております。なお新型コロナウイルス感染症の状況によっては予定を変更する場合もございますのでご了承ください。次回日程につきましては、改めて調整し出来るだけ早めに委員の皆様にご連絡させていただきます。

きます。本日は貴重なご意見どうもありがとうございました。今後の事業や広報へ
ご意見を反映させていきたいと思ひます。

令和4年4月13日

代表署名人 戸前 壽夫